

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

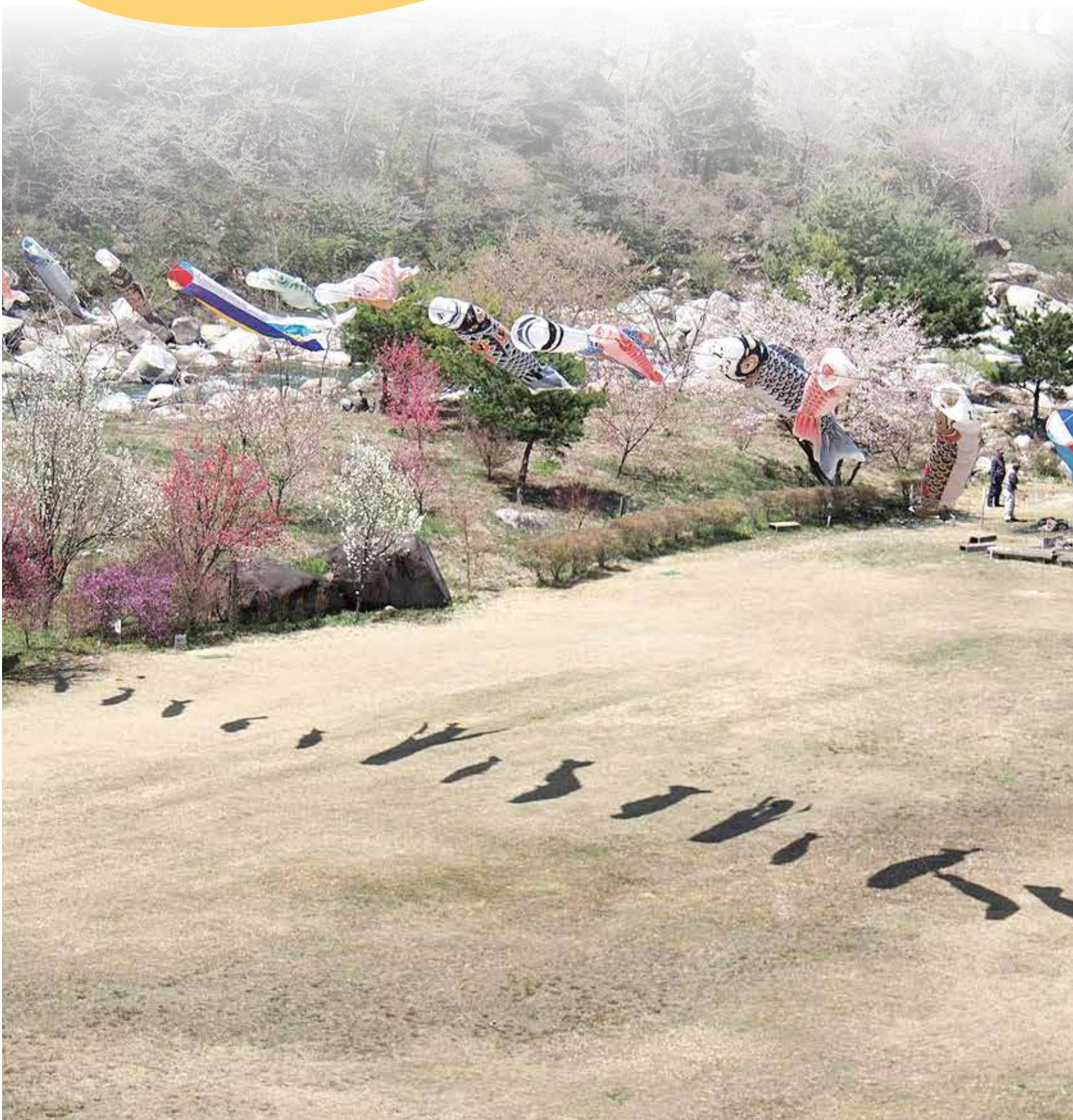
ORANGE
ROAD

2015年
春号
vol.5

INDEX

- ◆名古屋市障害者スポーツ大会を開催しました
- ◆平成27年度事業計画
- ◆経営戦略計画の成果指標と取り組み内容
- ◆事業団新人職員研修を実施しました
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



名古屋市障害者スポーツ大会を開催しました

5月10日（日）にパロマ瑞穂スタジアム等で第12回名古屋市障害者スポーツ大会（陸上競技・フライングディスク・レクリエーションの部）を開催しました。

当日は、真夏のような暑さの中、競技団体やボランティアの方々にご協力いただき、競技とレクリエーションを行いました。



競技では、陸上競技に386名、フライングディスクに260名の参加があり、スピード、力、技を競い合いました。

10月に開催される第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山県）の選手選考も兼ねており、和歌山県大会マスコットの「きいちゃん」と岩手県大会（来年度開催）マスコットの「そばっち」が応援する中、白熱した競技が行われました。



レクリエーションでは、陸上競技場に、区のマスコット「ショウちゃん（昭和区）」「みずほっぺ（瑞穂区）」「かぼっち（天白区）」が登場し、参加者と一緒に10m走とボッチャを楽しみました。フライングディスク会場ではディスクによる「ストラックアウト」を実施しました。

多くの方々に参加していただき、笑顔があふれる大会となりました。



平成27年度事業計画

平成27年度は、名古屋市総合リハビリテーションセンターの新たな指定管理期間の初年度です。指定管理応募時の提案や経営戦略計画を踏まえ、事業団全体として、以下の事項に重点的に取り組みます。

1 先駆的医療リハビリテーションをはじめとする医療の充実

利用者の多様なニーズに応じるとともに、医療機関としての多面性を打ち出すため、引き続き、365日間リハビリテーション医療（対入院患者）、ボトックス治療やCI療法、運転適性評価などの先駆的な取り組みも実施します。

2 障害者支援施設機能の強化

地域で安定した生活を送るための支援の充実や、高次脳機能障害者の利用の増加に対応するため、障害者支援施設の利用定員を変更するとともに、職員体制を強化します。

利用定員	
●自立訓練（機能訓練）	……40▶35人
●自立訓練（生活訓練）	……11▶16人
●就労移行支援	……40▶46人

3 高次脳機能障害者への地域支援の取り組み

高次脳機能障害には継続的な支援が必要であることから、要支援者数は累積的に増加しています。増加する要支援者に適切に対応するため、相談支援事業所との連携強化や地域生活援助者養成研究事業の実施など、地域の支援力向上に向けた取り組みを行います。

4 調査・研究等事業の推進

リハビリテーション研究基金による研究の推進や、より日常的に研究に取り組む業務研究等事業を活用した調査・研究活動の活性化を図ります。また、福祉用具・介護ロボット等に関する企業や研究機関等との共同研究や情報発信を行います。

5 職員の専門性の維持・向上（人材確保と人材育成）

社会環境の変化に対応して継続的に質の高いサービスを提供できるよう、効果的な広報、学生実習の受け入れ、人材育成制度の推進、講師派遣等の他機関との連携に取り組み、高い専門性・人間性を有する職員の確保、育成を図ります。

6 社会福祉法人制度改革への対応準備

社会福祉法人制度改革の中で「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「地域における公益的な取り組みを実施する責務」などが社会福祉法人に求められています。これらの対応について、他法人と連携しながら検討していきます。



経営戦略計画の成果指標と取り組み内容

第2次経営戦略計画の経営戦略目標に基づき、成果指標と年度別到達目標を定め、取り組みを実施します。

名古屋市の障害者施策推進の一翼を担う中核施設として、適切に状況を捉え、常に利用者の立場に立った事業を推進していきます。

基軸	経営戦略目標	成果指標	26年度目標	26年度実績	年度別到達目標		取り組み内容	
					27年度	28年度		
公共サービスの充実	1 利用者の意向を尊重し、利用者の可能性を最大限に発揮でき、必要なときに必要なサービスを受けられるよう、ライフステージに応じた支援を行います。	利用者満足度	入院患者	90%以上	95.3%	90%以上	90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ●地域への移行、地域生活の維持が円滑にできるよう、地域に向けた助言・啓発・研修など地域の関係機関等との連携を強化するとともに、相談支援機能を充実させるため事業団内の連携を推進します。 ●リハセンターの潜在的な対象者が、リハセンターを利用できるよう、他の医療機関、施設等からの経路を確立します。 ●就労移行を促進するため、ハローワーク等の関係機関と連携し、職場開拓を行い、また就労後の職場定着の支援を強化します。 ●自助具の製作やIT機器の活用などに関するボランティア、障害者スポーツ指導員など、地域で障害者支援に携わる人材を育成し、幅広いニーズに対応します。 ●障害者スポーツセンターでは、気軽に参加できるプログラムを充実し、スポーツ等の機会の提供を行います。 ●なごや福祉用具プラザでは、障害者・高齢者の自立を支援し、介護者の負担を軽減するために、的確な相談・情報提供を行います。 ●当法人の提供するサービスの質を数的に評価する重要な指標としてアンケート調査を実施し、利用者とその家族の意向を尊重するサービスの提供に努めます。 ●リハセンターの専門性、蓄積されたノウハウを生かし、また、人材育成も兼ねて外部向けの研修会、講習会の開催や、連携強化のための調整を行います。 ●研究への取り組み体制等を整備し、職員の研究開発の意欲を向上させます。 ●関係機関、研究機関、企業など外部機関等との共同研究を推進します。 ●リハ研究基金の活用を推進します。
			自立支援（入所）	90%以上	92.2%	90%以上	90%以上	
			自立支援（就労移行）	90%以上	94.8%	90%以上	90%以上	
			自立支援（視覚）	90%以上	94.9%	90%以上	90%以上	
			障害者スポーツセンター	90%以上	91.7%	90%以上	90%以上	
			利用者家族へのアンケート調査	90%以上	96.3%	90%以上	90%以上	
		基幹相談支援センター年間相談件数	4,500件	5,562件	4,600件	4,700件		
	なごや福祉用具プラザ年間相談件数	12,000件	12,104件	12,000件	12,000件			
	2 新たなニーズや、ニーズの変化を機敏に把握し、先駆的、先進的な事業に取り組むとともに、関係機関との密接な連携を促進し、相互の機能向上並びに、地域の障害者リハビリテーションや障害者サービスの充実を図り、情報発信、コーディネート等の中核的役割を果たします。	啓発事業・講習会等実施件数	25回	25回	25回	25回		
		講師派遣・講演件数	135件	158件	135件	135件		
地域連携パス紹介患者数		150人	169人	150人	150人			
3 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。	学会発表・論文発表数	35題	51題	37題	40題			
	外部との共同研究数	2	5	3	4			
財務内容の改善・向上	4 経費対効果を常に念頭に置き、制度改正等に即応した収入の確保や、経費の節減に努めます。	利用率	入院病床	90%	93.5%	90%	90%	<ul style="list-style-type: none"> ●事業団及び事業団が経営する施設の機能等を関係機関に情報提供するとともに、市民への広報活動を強化します。 ●医療制度・福祉制度の内容を把握し、当法人に適した制度での運用を行います。 ●入院時のリハビリテーションにおける提供単位数の拡充に努めます。 ●高度医療機器について保守点検に関する計画の策定及び保守点検の適切な実施をします。 ●統計システムの運用により、常に経営状況を把握し、法人経営の効率化・合理化に努めます。 ●利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、施設・設備の効果的な改善に努めます。 ●災害発生時の事業継続計画を策定します。
			自立支援入所	85%	83.8%	85%	85%	
			自立支援日中活動	90%以上	92.0%	90%以上	90%以上	
		入院患者への土日祝の平均リハビリテーション提供単位数	2.7	2.94	3.1	3.5		
		地域活動支援センターのべ登録者数	50	29	50	60		
		就労支援センター新規登録者数	60	137	70	80		
		障害者スポーツセンター1日当利用者数	470	473	470	470		
	5 利用者にとって安心・安全で、快適な環境を提供するため、リスクマネジメント等の確立に取り組み、適正な法人運営、施設運営を行います。	設備面に関する利用者満足度	90%以上	92.7%	90%以上	90%以上		
		事業継続計画の策定	策定実施	策定実施に向けての課題整理	策定実施	実施		
		策定実施に向けての課題整理						
人材力・現場力の強化	3 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。（再掲）	学会発表・論文発表数（再掲）	35題	51題	37題	40題	<ul style="list-style-type: none"> ●研究への取り組み体制等を整備し、職員の研究開発の意欲を向上させます。（再掲） ●関係機関、研究機関、企業など外部機関等との共同研究を推進します。（再掲） ●リハ研究基金の活用を推進します。（再掲） ●人事交流を導入し、外部機関との連携を強化します。 ●高い力量・資質をもつ職員の主体的な自己能力開発・向上を支援します。 	
		外部との共同研究数（再掲）	2	5	3	4		
	6 総合的な人材育成計画に基づいて、高い専門性とモチベーションを有する人間力豊かな人材を育成します。	外部機関への派遣・長期研修等職員数	1	2	2	2		
		自己啓発支援制度を利用した資格取得職員数	2	11	15	15		
		職員が企画運営する内部研修数	50	58	55	60		

事業団新人職員研修を実施しました

平成27年4月2日（木）、3日（金）の2日間、名古屋市総合リハビリテーションセンターで、新人職員研修を実施しました。対象は、昨年4月2日以降に採用された職員で、19名が参加しました。

参加者の自己紹介と白井センター長の話から始まり、経営戦略計画などの概要「人権」「組織人として」「防災」について、グループワークや体験を交えながら学びました。また、事業団の運営する各事業所（瑞穂区障害者基幹相談支援センター、なごや福祉用具プラザ、名古屋市障害者スポーツセンター、西部リハビリテーション事業所）へ行き、そこで行われている事業についての説明を受け、見学を行いました。



平成27年度の事業団の共通研修は、4階層合計18回実施する予定です。

また、今年度から育成面談制度、自己啓発支援制度（平成26年度一部実施）を実施し、環境の変化に対応して継続的に質の高いサービスを提供できるよう、高い専門性、人間性を有する職員の育成を目指します。

イベント情報

第12回名古屋市障害者スポーツ大会（水泳の部）

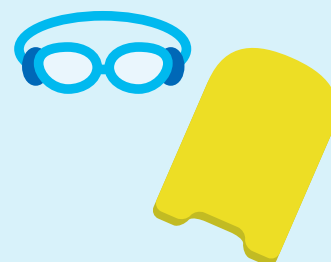
日時：平成27年8月23日（日） 13:00～17:00

場所：名古屋市障害者スポーツセンター

対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合せ：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370



地域介護者教室「いつから使う？福祉用具～脳血管障害とパーキンソン病の方の活用例～」

日時：平成27年6月26日（金） 13:30～15:00

場所：なごや福祉用具プラザ

自助具製作講座

日時：平成27年7月11日（土） 10:30～16:00

場所：なごや福祉用具プラザ

家族介護者教室

①北部介護者教室「知っておきたい！脳血管障害」

場所：名古屋市総合社会福祉会館

②西部介護者教室「パーキンソン病とともに歩む」

場所：西部リハビリテーション事業所

③東部介護者教室「高齢者の食事と栄養」

場所：名古屋市障害者スポーツセンター

④南部介護者教室「安心して在宅生活を～その1～」

場所：名古屋市総合リハビリテーションセンター

⑤中部介護者教室「安心して在宅生活を～その2～」

場所：なごや福祉用具プラザ



日時、対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合せ：なごや福祉用具プラザ

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

正規職員 看護師、作業療法士

嘱託職員 生活支援員補助、相談員（プラザ）

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>



事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710